

看護だより

KANAGAWA

Vol.174

2017年5月



公益社団法人
神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1
神奈川県総合医療会館内
TEL.045-263-2901(代) FAX.045-263-2905
http://www.kana-kango.or.jp/

平成29年度 会員数 28,538人

(平成29年4月25日現在)



▲新人リフレッシュ研修のミッションは未知のカレーを作ることでした。



▲看護部宣伝写真撮影中のひとコマ! みんな楽しそう!



新人研修:気管内挿管患者の吸引訓練
認定看護師からの手厚い指導を受けています。



DMAT (災害派遣医療チーム)の現地活動です。

看護の日イベント:整形外科病棟はズンドコ
体操で患者さんと一緒に盛りあげました。



◀病院前の桜は見事です。
一見の価値あり!!



【今月の表紙】

独立行政法人 労働者健康安全機構 横浜労災病院

→施設の紹介は24ページに掲載しています

CONTENTS

- ◆健康ひろば「食事と血糖値スパイク」・・・2～3
- ◆スペシャリストが行く「家族支援専門看護師」……………4
- ◆目からウロコのお役立ち情報「正常眼圧緑内障」……………5
- ◆特集「レジリエンスとは」……………6～7
- ◆保健師職能委員会研修会……………8
- ◆業務委員会研修会……………9
- ◆理事会報告/私のヒーリングタイム……………10
- ◆公益社団法人神奈川県看護協会 理念・方針・目標/平成29年度重点事業……………11
- ◆平成29年度事業計画……………12
- ◆資金収支予算書……………20
- ◆収支予算書……………22
- ◆こんにちは事務局です/表紙の写真/編集後記……………24



食事と血糖値スパイク

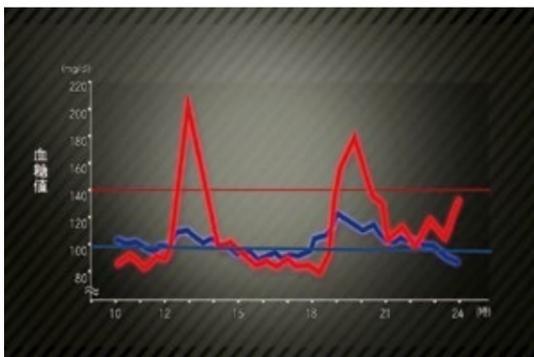
ちゃんと分かれば怖くない!



国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
薬剤科 薬剤師 土井 路子

最近話題の「血糖値スパイク」とは何か?

人の血糖値は常に変動していて、その変動は波のように表すことができます。血糖値に異常がない場合、血糖値の波（変動）は穏やかで、何を食べても1日中100mg/dlくらいに保たれています。しかし最近、食後1時間から2時間くらいに、瞬間的に血糖値が上昇してすぐに下降する「とがった波」が現れる人が増えていることが分かってきました（図1）。



【図1】 1日の血糖変動のイメージ
青色：健康者の血糖変動 赤色：血糖値スパイク（血糖値が140以上に急上昇している）
NHK ホームページより引用

これが「血糖値スパイク」です。その原因には、すい臓から分泌される「インスリン」という血糖値を下げるホルモンの分泌が、少なかったり遅かったりすることが挙げられます。更に、その原因は、生まれ持った体質のほか、生活習慣の乱れも影響するとされ、家族に糖尿病の人がいること・肥満・高血圧・運動不足・喫煙などの要因を多く合わせ持つことにより、起こる危険が高くなることが知られています。¹⁾

この「血糖値スパイク」は、空腹時の血糖値を測定する通常の健康診断では見つかりません。厳密に調べるとなると、人間ドックや、希望で受診できる病院で「75gブドウ糖負荷試験」という、ブドウ糖が入った液体を飲んで2時間後までの血糖変動をみる検査が必要になります。もう少し手軽に「血糖値スパイク」の有無を調べるには、保険薬局などで購入できる「尿糖試験紙」や「簡易血糖

測定器」を利用する方法があります。「尿糖試験紙」では、食後の尿に試験紙を浸して糖が出ていれば、「血糖値スパイク」が起こっている可能性があります。「簡易血糖測定器」では、食後に測定して140mg/dlを上回ってれば「血糖値スパイク」が起こっていることとなります。ご自身の状態を知れば対応策が見つかり、何も怖いことはありません。『敵を知り己を知れば百戦危うからず』です。

身体にどのような影響を及ぼすのか?

すばり！血糖値の変動が大きいほど心筋梗塞や脳梗塞の発症率が高くなります。²⁾ それはなぜでしょうか？

血管の中を流れる血液の中の糖の濃度が、高くなったり低くなったりする状態が続くと、血管の壁が傷ついてしまいます。³⁾ 傷ついた壁を免疫細胞が修復しようと集まり、その残骸が「こぶ」や「かさぶた」ようになって、血管の中を狭くしていくのです。血管の中が狭くなって血流が淀んだところには、血栓（血の塊）ができやすくなり、その血栓が血流に乗って心臓の血管を詰まらせると心筋梗塞、脳の血管を詰まらせると脳梗塞になってしまうのです。

また「血糖値スパイク」が起こりやすくなっている人は、インスリンの効きが悪い状態であることが多く、そのまま放置していると血液中にインスリンが増えていきます。血液中にインスリンが増え過ぎると「アミロイドベータ」という神経を壊してしまう老廃物が脳内に溜まりやすくなり、これが認知症の原因になると考えられています。また、インスリンには細胞を増やす作用もあると言われ、がん細胞まで増やしてしまうのではないかと危惧されています。血液中にインスリンが増え過ぎないように、「血糖値スパイク」を起こさない工夫をしましょう。

「血糖値スパイク」の予防策は?

「血糖値スパイク」に効くお薬があります。医師が必要と判断すれば処方してもらうことも可能です。でも、薬

に頼らない方法（薬を服用しながらも効果を上乗せする方法）をお伝えします。

①野菜から食べる・よく噛む（1口30回）

（図2）をご覧ください。この上下に並ぶ2つの血糖変動は、同じ人が同じメニューを食べた時のもので、変えたのは「食べ方」だけです。上段は、いつも通りに食べた場合の血糖変動です。これだけの工夫で「血糖値スパイク」は消失するのです。

②朝食は欠かさない

朝食を抜いてしまうと、「血糖値スパイク」が強くなることが分かっています（図3）。空腹の時間が長く続くと、血糖値が下がらないように「血糖値を上げるホルモン」が出てくるので、その後、食事を摂った際に過剰に血糖値が上昇してしまうのです。忙しい朝ですが、少しでも食事を摂って、空腹の時間が長くないようにして「血糖値スパイク」を防ぎましょう。

③食後に少しでも体（筋肉）を動かす

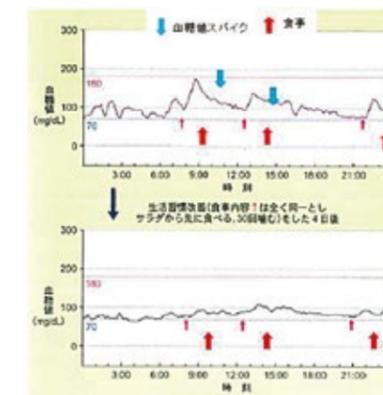
「血糖値スパイク」が現れる前に、少しでも筋肉を使うことが重要です（図4）。理想は、食事開始後30分以内に軽い散歩ができればベストですが、散歩はなかなか難しいという方は、軽いストレッチをしたり、座ったまま膝を伸ばして足を前に上げたり、肘を曲げて腕を前後に振るなど、手足の筋肉を使うだけでも良い運動になります。

代わりに

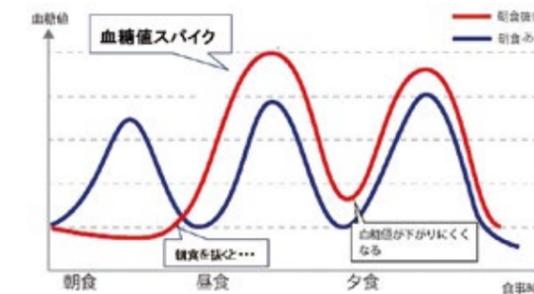
知らずに放置しておく恐ろしい「血糖値スパイク」ですが、ちょっとした生活の工夫で防ぐことができます。こういった工夫は、「血糖値スパイク」のためだけでなく、気分の改善やダイエット、女性なら美容にも良さそうです。ぜひ、できることから始めてみましょう。

参考文献

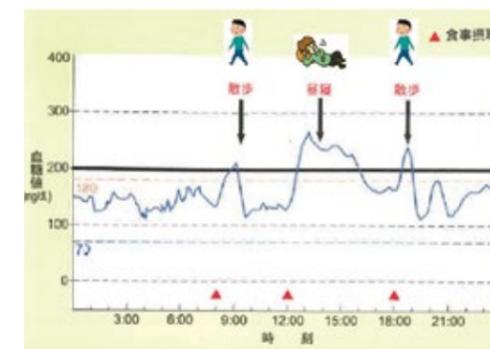
- 1) 出典：<http://www.nhk.or.jp/special/kettouchi/check/index.html>
- 2) 食後血糖値の管理に関するガイドライン（International Diabetes Federation：IDF）
- 3) Rizzo A, et al. Am. J. Physiol. Endocrinol. Metab., 281: E924-30, 2001



【図2】 24時間血糖値モニターの結果
上は、早食いの45歳男性の血糖変動。わかりやすい血糖値スパイクが見られます。下は、食べ方を変えた後の血糖値変動。見事にスパイクが消失しました！
西村理明「CGM - 持続血糖モニターが切り開く世界 -」医薬ジャーナル社 改訂版 p.43より



【図3】 朝食を摂取した場合と、抜いた場合の血糖変動の比較
朝食を抜くと、昼食後の血糖値スパイクが強くなり、それ以降の血糖値も高い傾向にあります。
Deniela J, et al. Diabetes Care 2015; 38:1820-1826



【図4】 血糖値スパイクと運動の効果
食後に運動したときには血糖値はすぐに低下し、昼寝をしたときには血糖値スパイクが改善しません。
西村理明「CGM - 持続血糖モニターが切り開く世界 -」医薬ジャーナル社 改訂版 p.47より

家族支援専門看護師

患者・家族と共に歩む!

～当たり前前～

～当たり前にするために～



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立足柄上病院 救急外来看護科長
家族支援専門看護師 櫻井 大輔

資格取得の経緯

働き始めて7年目、内科病棟へと異動しました。そこでは、患者と向き合える楽しさを日々感じ、充実した毎日でした。もちろん楽しいことばかりではなく、辛い体験もしました。そんな日々の事例を振り返ると、どの事例も「家族」の存在が絡んでいたことに気づき、家族看護に興味を抱きました。また上司との面接で「男性だし、大学も出ているし専門看護師（以下 CNS）を目指してみたら」と言われ、自分の学びたい「家族」領域があることを知り、「家族支援専門看護師（以下 FaCNS）」資格取得をめざしました。しかし、資格取得までの過程は決してスムーズではなく、働きながら学習する大変さは想像を絶するものでした。それでも、職場の上司や仲間、恩師に背中を押され、何より自分の家族の理解に支えられてやり遂げることができたと、感謝しています。

資格取得後の活動

取得当時、FaCNSは全国に14人しかおらず、また院内で初めての CNS でもあり、「何ができるか」を示すことから始めました。クレーム処理から複雑な家族背景を持つ患者・家族対応まで、受けた依頼は断らず対応しました。今では、看護師のみならず医師からも相談を受けるようになってきています。

現在は、救急外来看護科長として、救急外来に搬送される患者・家族に対応しています。初対面の患者・家族のストーリーを描いていくために、家族全体を俯瞰して捉

※俯瞰…高いところから見下ろすこと。全体を広く見ること。

える困難性がありますが、そこでの関わり全てが看護ケアとなり、家族の力を引き出すことへと繋がっていきます。危機的状況の中で、家族が自分たちの力で立ち上がっていき過程を共に歩むことができることに、醍醐味を感じています。

今後の仕事への思い

私が目指すところは「当たり前前のこと」です。実はこのことがとても難しく、まだまだ達成できずにいます。自分にとっての大切な家族（患者）が病に苦しめば、家族も苦しむ。そんな苦しんでいる人に手を差し伸べる。これは看護師として当たり前前のこと、原点だと思えます。まずは自分が実践し、仲間を増やし、「特別なものではない当たり前前家族看護」を今後も続け、広めていきたいと思っています。



ドクターと打ち合わせをする櫻井さん

目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは…

正常眼圧緑内障

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とっておきの情報を提供します。今回は、「正常眼圧緑内障」について、川崎市保健所多摩支所長 塚本和秀先生に解説していただきました。

40歳以上になったら年に1回は目の検査を! 神経乳頭陥凹拡大や緑内障疑いと指摘されたら精査を!

緑内障とはどんな病気?

眼圧が上昇するなど視神経が障害され、その結果、視野が狭くなり、視力が下がったりして、進むと失明することもある目の病気です。(眼圧:眼球のかたさ、圧力のこと、正常は10~21mm水銀柱ぐらい)。

日本人の視覚障害における緑内障の割合をみると、2007年の国の調査で視覚障害者(良い方の眼の視力が0.5未満)のうち緑内障は2割を超え第1位でした。緑内障の人は、多治見スタディという研究(日本緑内障学会)によると、40歳以上の人の約5%と推定されています。

正常眼圧緑内障とは?

眼圧が正常範囲でもこの圧に耐えられず視神経が障害されるタイプの緑内障です。加齢や近視により、発生頻度が高くなるとされています。実はこの研究で緑内障とされた方の7割は正常眼圧緑内障ですが、診断の多くはこの研究で初めてみつかったのです!

多くの方は片目が悪くても両目で生活しているの

で気づかず、病気が進行し視覚障害を自覚して眼科を受診、検査を受けて初めて診断されます。治療することで進行を止めたり、ゆるやかにしたりできますが、傷んだ神経は元には戻らず、視野異常が出たときには神経線維の3割が減っているとされます。

緑内障の検査方法と治療

1. 基本検査

- ①眼圧検査
- ②眼底検査: 視神経の眼球への入り口(視神経乳頭)といい、凹みが大きいと陥凹拡大や緑内障の疑いとされますなどをみます。(参考: 図1 眼球図、図2 正常眼底写真、図3 緑内障眼底写真)

2. 精密検査

- ①視野検査: 小さな光がわかったらボタンを押すことを繰り返して見える範囲を確認します。
- ②光干渉断層計: 神経の状態が詳しくわかります。

3. 治療

治療は眼圧を下げる点眼薬の治療が基本です。(手術が必要なこともあります)

早期発見、早期治療ができれば理想的です。40歳以上になったら、年に1回は目の検査を受けましょう。眼圧検査・眼底検査は眼科や人間ドックで受けられます。要精査になったら視野検査等を受けることが大切です。

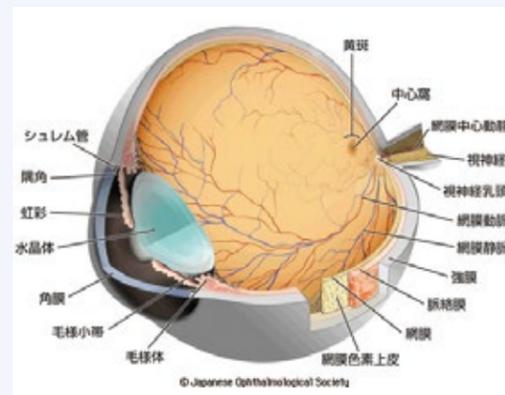


図1 眼球図 (出典:日本眼科学会)

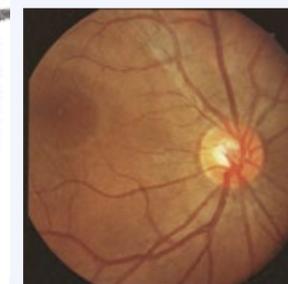


図2 正常眼底写真

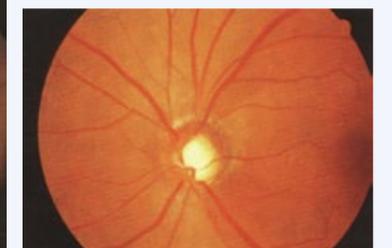


図3 緑内障眼底写真
真中の視神経乳頭が凹んでいる



～折れない心を育てる～ レジリエンスとは



オフィスナースナレッジ
江口 智子

レジリエンスって何？

「レジリエンス」という言葉を聞いたことがありますか？
ここ数年、看護界でもレジリエンスがテーマに研究されたり、教育に取り入れられている施設があります。

「レジリエンス (resilience)」には、「復元力、回復力」という意味があります。物質に備わっている、物が元に戻るとうとする性質を表す言葉です。

1970年代、アメリカの心理学者が行ったトラウマ調査において、幼少期に戦争で過酷な体験をしたにも関わらず、明るく日常を送っている子供の存在に着目し、レジリエンスの研究が始まりました。このように、逆境にあっても、それを乗り越える力をレジリエンスと呼びます。レジリエンスはポジティブ心理学や幸福学、ウェルビーイング (well being= 身体的、精神的、社会的に良好な状態) などと深い関係があります。

レジリエンスの解釈は研究者によって様々です。ここでは、アメリカ心理学会の定義をご紹介します。

「レジリエンスとは、トラウマ、人生の悲劇や脅威、逆境、ストレスフルな状況に直面したときに、うまく適応するプロセス」



レジリエンスの高い人ってどんな人？

皆さんは、逆境を乗り越えた人と聞いて、頭に浮かぶのはどんな人でしょう。身近な人や有名人でもいいです。その人の態度や言葉を思いだすと、どんな人が想像がつくのでしょうか。

困難な状況になったとき、その人はどうでしたか？いつも、明るく困難を乗り越えていましたか？それとも、最初は絶望感で落ち込み、怒ったりしたかもしれません。誰とも口を聞かなかったかもしれません。その人は、ずっとそのままでしたか？次にあなたがその人を見た時、表情が変わり、何か行動を起こしていませんか？むしろ、困難の前より、輝いて元気になってはいませんか？

その人の口癖はどうでしょう？「大丈夫、きょううまくいよ」「次は、こうしようか」「いつもありがとう」など、前向きで、建設的で、なにより感謝のある言葉ではないでしょうか。その人たちの特徴はどうでしょう。笑顔と明るさ、ほがらかさを常に兼ね備えて、いつも周りには、自然と人が集まっているのではないのでしょうか。

心の折れやすい人ってどんな人？

「心が折れやすい人＝レジリエンスが低い人」と定義すると、心の折れやすい人は、レジリエンスが高い人の特徴を持ち合わせていない人と言えます。

口癖はどうでしょう？プライベートや仕事でも、「でもさあ」「無理無理」「私だけ頑張ってる」「上司 (あるいは部下) のせい」「この環境がだめ」。会話が否定から成り、うまくいかない状況を自分以外のせいにしていませんか？逆に、「どうせできっこない」「だって自分は、能力ないから」必要以上に自分を責めたり、

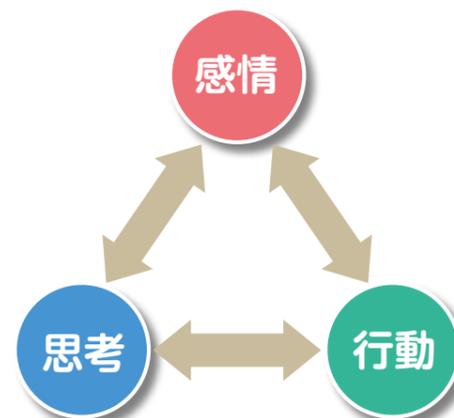
あきらめたりしていませんか？否定してもよいのです、そのあと、別のアイデアがあれば、それは建設的な考えに変わるのですから。ただ、否定で終わる。そんな人を観察して下さい。いつもイライラして怒りをまき散らしていませんか？いつも、溜息ついて疲れていませんか？悩んでうじうじしていませんか？誰もが、自然とその人からは、足が遠のいているのではないのでしょうか。

折れない心のために

みなさんは仕事をしていて、ストレスフルな状況になったり、逆境とも言えるでき事を日常的に経験していませんか？だからこそ、レジリエンスを日常的に職場でも取り入れていく事をおすすめします。

☆ネガティブ感情のスパイラルから脱出する☆

人の心理は感情と思考と行動の3つが影響あっています。



(一般社団法人ウェルビーイング教育アカデミー)

ネガティブな感情に支配された時、その状態のまま仕事をせず、意識して行動を変えてみて下さい。それが思考と感情に変化を起こしてくれます。例えば、職場でミスをして、上司や先輩に注意を受けた。こんな時、「嫌だなあ」「あんな言い方しなくても」「自分はもうだめだ」人によって感情は様々ですが、このまま仕事を続けたらどうなるでしょう。その事ばかりに捕らわれ、今やらなくてはいけない事を忘れてしまいます。次のミスを引き起こしかねません。

こういう感情になったとき、試みに「手洗い」をして下さい。感染防止の研修で教えられた、あの手洗いです。職場に写真やイラストが貼ってあるでしょう。その通りにただ手洗いに没頭して下さい。それだけでも、先ほどのネガティブな感情が落ち着くはず。そうすると、余計な感情に引きずられることなく、今自分が何をやるのか冷静な思考に結びつくはず。これは、マインドフルネス (注1) を取り入れた、ほんの一例です。

他にも「自分の思考の癖を知る」「強みを活かす」「自己効力感を育む」「自分のサポーターを知る」「失敗の意味を知る」「ポジティブ感情を高める」など、実践していく事で、あなたもレジリエントな人になって行けることでしょう。



(注1) マインドフルネス:「今」という瞬間に意識的に集中する行為のこと。

2025年に向け、住民の自助力で 地域を幸せ(元気)にしよう！

地域における保健師の 保健活動について

平成25年4月に、国が新たに「地域における保健師の保健活動に関する指針」を定め、保健師の保健活動に係る基本的な方向性10項目が示されました。保健師が地区活動という手法で、住民に質のよい保健活動を展開するために、私たちは、地域住民の暮らしの情報や声を集め、住民の持つパワーをいただきながら奮闘しています。

「地域力をどう引き出すか」 3つの極意をNHK担当 ディレクターから学ぶ

今回はこの『地域』に焦点を当て、NHK人気番組『難問解決！ご近所の底力』担当ディレクターの黒川敬氏を講師に迎え、『地域力をどう引き出すか』というテーマで研修会を開催しました。

今回の参加者は、保健師・看護師・助産師の看護職だけでなく、社会福祉士・ケアマネジャー・支援相談員・美容師など多職種の方々でした。これまでも精神保健福祉士や教職員・臨床心理士・事務職などの参加があり、多職種の参加は、保健師職能研修会の特徴でもあります。

講義では、『地域包括ケアシステム』を地域の中で構築していくために、住民をいかに巻き込み、底力をどう引き出

すかを、見事難問解決した事例（振込め詐欺・孤独死・抜け道暴走車や空き巣対策・高齢者の教室参加の促進など）を基に話されました。

「①ピンチはチャンス」「②全員賛成はやめよう」「③人材はそば（地域）にいるのでその人とかかわりを少しずつ広げることで地域の難問は解決できる」と3つの極意を学びました。「地域の担い手となる若者を巻き込むには、どんなことにも手を抜かない一生懸命な大人たちの姿を見る」「彼らにチャンスの道を作り年配者は裏方に回る」など、身近な事例から知ることができました。



講師のNHK担当ディレクター
黒川敬氏

Let's go 地域！

私たちは地域活動に限ってではありませんが、すべて上手いかなければと肩に力が入り成果を期待しすぎてしまいがちです。「誰か一人でも助かる人がいれば十分です」と講師から心強い助言をもらい、少し気が楽になりました。研修で得たコツとヒントを頼りに、今日もまた地域に飛び出して行こうと思います。（保健師職能委員会 鈴木豊子）



3つの極意について熱心に講義をされる黒川氏



会場には、看護職だけでなく、社会福祉士やケアマネジャーなど多職種の人が集まった。

高齢者看護における 倫理的課題を考える

「高齢者看護の倫理」研修に 166人参加



講師の鶴若氏

業務委員会では2013年から『2025年の超高齢社会像』を念頭に調査・報告書作成や研修会を企画してきました。

2月27日（月）には、県総合医療会館7階講堂において『高齢者看護の倫理』に焦点をあて、日本看護倫理学会の理事で、聖路加国際大学看護学部

准教授の鶴若麻理先生をお招きし、研修会を開催しました。研修内容は、看護倫理の基礎的なことから高齢者看護に至るまで、日々看護を実践していくうえで「堅苦しい」と思われがちな倫理について、わかりやすく講義していただきました。

また、身近な事例を用いて会場とディスカッションする場面もあり、思いや悩みを共有することができました。

「私」ではなく「患者」が 何を望むかを考える

倫理的課題というと、「生命維持装置のスイッチを切るべきかどうか」等の難しい判断を想像しがちです。しかし、実際には日常業務の中で感じる「何かおかしい」「これでよ

かったのだろうか」などの身近な違和感の中に存在しているものだと改めて認識しました。

特に認知症高齢者をめぐる倫理的問題については、①判断能力の低下に関する問題 ②尊厳にかかわる問題 ③安全確保の問題 という3つの特徴の説明がありました。

高齢者の意思決定のプロセスの中で代行判断を求められたとき「患者のために私は何を望むか」ではなく「患者はこの状況下で何を望むか」を考えることが大切だということに気づかされました。

参加者にとって、それぞれの施設、立場で活かしていただける内容であったと思います。

今後も「高齢者看護」について ヒントとなる情報発信を めざす

患者の権利が強うたわれ、医療の複雑化がすすむなかで、高齢者の倫理的課題はさらにクローズアップされていくことと思います。今回の研修は、私たち看護職が倫理的課題といかに向き合っていくか、組織の倫理的風土を作っていくかを考える機会となりました。

業務委員会では今後も「高齢者看護」に焦点をあてた研修を企画し、日々現場で様々なジレンマと向き合う皆さんへ、少しでもヒントとなるような情報を発信していきたいと思っています。（業務委員会 十枝内 綾乃）



講師の先生(左から3人目)と業務委員会のスタッフ

審議事項

1. 平成29年度 神奈川県看護協会方針・目標等について 承認
2. 平成29年度 重点事業・事業計画(案)について 承認
3. 平成28年度補正予算(案)について 承認
4. 平成29年度当初予算(案)について 承認
5. 平成29年度資金調達及び設備投資の見込みについて 承認

報告事項

1. 平成29年度6月県看護協会通常総会について
2. 平成29年度県看護協会長表彰候補者の推薦について
3. 平成29年度神奈川県看護協会役員について
4. 相談役の設置について
5. 日本看護協会の取り組みに対する当協会参加について
“病院で働く看護職の賃金のあり方”

報告事項

1. 日本看護協会理事会(2/16.17)
2. 平成30年度日本看護協会通常総会代議員数について
3. 県央支部理事の辞任について
4. 支部研修案内等の印刷・発送等に係わる手順について
5. 平成29年度看護協会教育計画について
6. 認定コース、学会、研修に関する報告について
7. 看護学校卒業式対応状況について
8. 県看護協会「新春のつどい」実施報告について
9. 平成29年度かながわ看護フェスティバルについて

その他

1. 平成29年度 日本看護協会選挙管理委員の推薦について
2. キャリア支援研修センター藤沢の貸し出しについて

公益社団法人神奈川県看護協会 理念・方針・目標

【理念】

『三つの精神』 ^{いのち}生命 ^{いのち}自律 ^{こころ}情熱

^{いのち}生命：誕生から終焉まで、尊厳を守り、真摯に命と向き合う精神

^{こころ}自律：自己の規範を確立し、誠実に行動する精神

^{こころ}情熱：何事も熱意をもって取り組み、成し遂げようとする精神

【方針】

- 1 県民の健康の保持・増進及び健康問題に対し優れた知識・技術をもち、人々の多様なニーズに応えられる倫理観の高い看護職育成への寄与
- 2 看護に関する情報の積極的な収集とタイムリーな発信、関係問題の発生時におけるスピード感をもった対応
- 3 医療職および福祉職との連携・協働の維持
- 4 看護職が働き続けられる職場環境整備への支援

【目標】

- 1 社会の動向、医療環境に見合う精度の高い継続的な教育・研修を提供する。
- 2 看護職能団体として課せられた公益的役割をはたすと同時に、あらゆる面から看護職を保護し支援する体制を維持・強化する。また、看護協会の魅力を明確にし、会員の帰属意識を高め組織強化を図る。
- 3 2025年問題を見据えて、地域と在宅における看護職の活動領域の拡大及び充実を図る。
- 4 看護職の離職防止と就業促進に向け、ナースセンター機能を強化する。
- 5 災害発生時に適切な支援ができるように、計画的な準備を推進するとともに、「災害支援ナース」の育成に努める。

平成29年度重点事業

今後更に加速する高齢社会において、多死社会、独居世帯、認知症の増加等、様々な課題があります。一方、その課題を支えるべく人材の確保も大きな課題となっています。

このような状況の中、看護の職能団体として看護協会が担うべき役割は大きく、その範囲は多岐にわたっています。現在推進されている地域包括ケアにおいては、医師をはじめとする多職種との連携が重要なキーワードとなります。

これらの課題をふまえ、平成29年度は以下の事業に取り組むことといたします。

1 地域看護に従事する看護職の資質向上とその支援

- 1) 地域看護領域で働く看護職の資質向上に向けた教育研修の充実
- 2) 地域包括ケア推進に向けた看護連携と多職種連携推進の支援

2 看護職の労働環境の整備推進と就業支援

- 1) 勤務環境改善に向けた看護管理者を対象とした研修の充実
- 2) 離職看護職登録を推進し、再就業とキャリア育成への支援

3 災害時対策の充実

- 1) 災害支援ナース育成の推進
- 2) 災害時、関連施設・機関との連携強化と対応訓練の充実

毎日をHAPPYにする 私のヒーリングタイム

サーフィンで波と一体に

今から7年くらい前、私が初心者頃の頃のこと。波に乗った時に、波と自分が一体化したような感覚を体感し、それ以来サーフィンの虜になりました。今ではサーフィンは生活の一部になっています。海の近くに住み、夏場は波があれば海に入ってから出勤し、仕事の活力になっています。

サーフィンの上達にはゴールはなく、海は常に同じようなコンディションではないため、毎回違う波にワクワクしながら海に入っています。海には四季折々の気持ち良さがあり、早起きしたら朝焼けを、夕方には夕焼けを浴びながらサーフィンができ、とても綺麗な景色も日頃の疲れを癒してくれます。年を重ねても体が許す限り、海に入り続けたいと思います。

湘南藤沢徳洲会病院

看護師 右松 栄里



大きな波に乗りスピードも快調!



穏やかな波の日はお犬と一緒に

公益社団法人神奈川県看護協会の活動指針

- 1 人々が安心できる保健・医療・福祉サービスの発展に貢献します。
- 2 県民が安心して生活できるよう人々の健康を支えるため、看護職の質の向上に努めます。
- 3 一人ひとりの看護職が、安心して安全な看護を提供できる場づくりを支援します。

平成29年度事業計画

I 公益目的事業

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業 | 2 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業 |
| 3 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業 | 4 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業 |
| 5 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業 | 6 その他公益目的を達成するために必要な事業 |

II その他の事業

- | | |
|--------------|----------|
| 1 会員に対する支援事業 | 2 法人管理事業 |
|--------------|----------|

I 公益目的事業（事業費 675,013 千円）

I-1 保健・医療・福祉の知識の普及啓発に関する事業（直接事業費 14,726 千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 県民に対する看護の普及活動 1) 看護週間行事 (1) 看護フェスティバルの開催 ・生活習慣病対策(血管年齢・脳年齢等の測定) ・健康相談 ・看護師等になるための進路相談 (2) 「一日看護体験」事業 2) 県民に対する広報活動の強化 (1) 広報出版委員会 (2) 「KANAGAWA 看護だより」の発行 (3) ホームページの充実・利用の促進	・平成29年5月13日(土) 横浜市 参加予定数 延2,500名 ・各支部における開催(予定) (「まちの保健室」を含む) 川崎地区(川崎市等と合同)5月1,000名 横浜北地区 10月200名 横浜西地区 10月200名 横須賀地区(横須賀市等と合同)6月150名 相模原地区(相模原市等と合同)4月500名 県央地区(綾瀬市等と合同)11月200名 ・実施期間 5月1日～8月31日 参加予定数 6,000名 県内150箇所の病院等施設 ・定例会 年12回 「KANAGAWA 看護だより」の企画、編集 ・年6回 計218,400部 配布先 病院等施設、市町、図書館等 ホームページ掲載 ・目標アクセス数 年300,000件	11,992千円
2 県民のための健康相談及び知識の普及 1) 健康相談事業の充実 (1) 支部及び協会訪問看護ステーションの「まちの保健室」活動支援 (2) 県民のための講演会 2) 健康・医療・安全に関する知識の普及・啓発 (1) 県民及び看護職を対象とした禁煙推進事業 3) 県内の医療職に対しての緊急情報の周知活動 4) 次世代育成対策の普及	・川崎地区1回、横浜北地区1回、横浜西地区1回、横須賀地区1回、相模原地区1回、県央地区1回 ・県看護協会訪問看護ステーション(4箇所) 年1回×4箇所 ・年1回 定員300名 ・「スモークフリー推進かながわ基金」への参加及び禁煙に関する委員会への参加 ・トピックス研修 年2回 随時ホームページ掲載	2,734千円

事業内容	具体的計画等	予算額
(1) 看護実践教育アドバイザー事業 看護実践教育アドバイザーを看護学生の実習受入施設へ派遣し、実習指導の効果的な支援を行う。	・アドバイザーを15施設以上に派遣	

I-2 在宅等での療養者のための訪問看護、居宅介護支援事業（事業費 369,138 千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 訪問看護及び居宅介護支援事業の充実 1) 訪問看護ステーション事業の充実 ・乳幼児から高齢者まで、病気や障害のある方が、住み慣れた地域や家庭で、その人らしく療養生活を送れるように看護師が生活の場へ訪問し、看護ケアを提供し、自立への援助を促し療養生活を支援する。また、医師や関係機関と連携をとり、様々な在宅ケアサービスを提案する。 ・24時間対応体制の整備、緊急の際の夜間・休日の相談及び訪問、状態の変化や病状の観察・処置、かかりつけ医との連携等 ・がん末期や終末期などでも、自宅で過ごせるよう適切な判断に基づいたケアとアドバイスの実施及び家族等への支援 ・事業所 かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市) おおいそ訪問看護ステーション(大磯町) 洋光台訪問看護ステーション(横浜市) 2) 居宅介護支援事業 ・加齢や疾病、障害等による生活障害をもった要介護状態等の人々が、家族の支えや社会的サービスの利用により、自立した質の高い生活を送ることができるよう、ケアプランの作成や相談等を通して支援する。 ・事業所 かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) おおいそ訪問看護ステーション(大磯町) 3) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価 (1) 利用者満足度調査 (2) 介護サービス情報公表にかかる自己評価 4) 地域への活動 退院調整のための病院訪問(地域連携室など) 訪問看護ステーションの普及・啓発活動 訪問看護ステーション教育支援事業(県委託)	・訪問看護ステーション所長会議 年12回 ・事務職員会議(年2回) ・訪問看護疾患・症状別看護基準の作成 (年間目標延件数) ・訪問件数 14,000件 ・訪問件数 6,500件 ・訪問件数 7,000件 ・訪問件数 7,000件 ・ケアプラン作成数 400件 ・ケアプラン作成数 480件 ・年1回 ・年1回 ・各訪問看護ステーション月2回/年24回 ・訪問看護ステーションごとのパンフレット作成 ・広報活動(広報紙、地域住民に向けた健康講座、SNS等の利用) ・同行訪問研修 ・新任または経験の少ない訪問看護師への研修 ・教育担当者への研修	363,133千円
5) 看護職員等の資質の向上 (1) 訪問看護ステーション内研修 訪問看護に関する情報共有、勉強会等 (2) 事例検討会 困難ケース等についての検討会 (3) 研修への参加 6) 看護職・看護学生・福祉職に対する教育支援 研修生受け入れ 7) 関係機関との連携 (1) 各関係団体との連携と会議への出席	・各訪問看護ステーション 月2～4回 ・各訪問看護ステーション 年3回 ・ST職員 年2回 ・看護大学生、専門学校生、県看護協会研修生等 延120名/4か所 ・各訪問看護ステーション 年10回	
	共通経費	6,005千円

I-3 看護における医療安全及び災害時等の救護に関する事業（直接事業費 5,836 千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 看護における医療安全体制強化のための支援		2,374千円

事業内容	具体的計画等	予算額
1) 医療安全情報収集・情報発信 2) 医療介護福祉従事者への意識啓発 3) 医療安全管理者養成研修の支援 4) 医療安全管理者養成研修修了者への活動支援 (1) 医療安全管理者情報交換と啓発活動 5) 関連団体との連携推進 (1) (公社)日本看護協会との連携 (2) 神奈川県6団体による医療安全推進会議への参加及びセミナー開催 6) 医療安全に関する相談・情報提供 7) 小規模施設の感染予防対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全情報検討ワーキング 年9回 ・「医療安全情報」発行 年3回 計3,000部 配布先 病院等施設 ・医療安全資料(平成20年以降発行)の見直し ・講演会 1回 定員250名 ・年1回 7日間 定員85名 <ul style="list-style-type: none"> ・交流会 年11回 <ul style="list-style-type: none"> ・会議 年1回 ・セミナー 年1回 <ul style="list-style-type: none"> ・事故に関係した看護職への支援、相談対応 医療事故防止対策に関する広報 「医療安全情報」ホームページ掲載 医療安全推進週間の広報(11月25日中心) ・認定看護師による出張相談 	
2 災害時の看護支援活動の強化と普及 1) 関連団体との連携推進 (1) (公社)日本看護協会との連携推進 (2) 県・市合同総合防災訓練への参加及び開催支部との連携 (3) 県内関連施設との連携 (4) 横浜市災害看護研修 2) 災害支援ナースの派遣 3) 災害への備え・広報活動 (1) 災害救護対策委員会 (2) 災害発生時のマニュアル整備 (3) 災害看護研修の支援 ・インターネット配信研修/リアルタイム 災害支援ナースの基礎知識 ・災害看護マネジメント研修 ・災害看護実務編 災害支援ナース育成研修 (4) 災害支援ナース登録推進 災害支援ナーススキルアップ研修 (5) 県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発 リーフレット展示・デモンストレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・(公社)日本看護協会災害担当者会議 年1回 ・都道府県看護協会 災害支援ナース派遣 調整合同訓練への参加 ・医療救護活動訓練への参加 合同総合防災訓練会議 年5回 ・県内関連施設との防災訓練 年1回 ・年2回 延2日 延定員160名 ・神奈川県及び(公社)日本看護協会の要請に基づき災害支援ナース派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年8回 ・防災関連リーフレット作成・配布 年1回 3000部 ・KANAGAWA看護だより掲載 年1回 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時受援マニュアルの作成 ・災害支援ナースハンドブック改訂 ・災害支援ナース携帯物品の整備の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・定員200名 2日 ・定員60名 2日 ・定員60名 2日 <ul style="list-style-type: none"> ・募集ポスター作成 年1回2,000部 登録手続き 年1回 1日 対象者：災害支援ナース登録者 ・県・市合同防災訓練、看護フェスティバル等でリーフレット配布 	3,462千円

I-4 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業(直接事業費53,210千円)

事業内容	具体的計画等	予算額
1 看護職の資質向上の支援 1) 継続教育の推進 (1) 看護実践力向上研修 ・看護共通分野の研修 ・看護専門分野の研修 ・態度、感性を磨く研修 (2) 看護安全力向上研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研修35回 延47.5日 延定員3,860名 ・研修3回 3日 延定員445名 	24,138千円

事業内容	具体的計画等	予算額
(3) 看護管理研修 (4) 小規模施設看護職のキャリア形成支援Ⅰ (5) 小規模施設看護職のキャリア形成支援Ⅱ (6) 研修運営事業 (7) トピックス研修「地域医療構想をふまえた看護職の活躍のすがた」 (8) オープンセミナー 2) 新人看護職研修の充実 (1) がんばれ新人ナース研修 (2) 新人看護職員研修 (3) 指導者養成 ・実地指導者研修Ⅰ、Ⅱ ・研修責任者研修 (4) 新人看護職員研修推進協議会・新人看護職員研修検討会 3) 支部との連携研修 4) 看護研究の充実 (1) 神奈川看護学会の開催 (2) 看護研究推進支援 5) 教育企画運営に向けての支援 (1) 教育研修委員会 (2) 准看護師教育検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・研修6回 8日 延定員575名 ・研修5回 8日 定員10名 ・研修4回 8日 定員6名 ・「教育計画」 年1回 50,000部 タブロイド版作成 ・実施報告書作成 年1回 1,300部 ・次年度教育計画・事業案説明会 2月開催 ・1日 定員300名 ・病院等施設などで企画した研修を県下の看護職に公開 延200研修 <ul style="list-style-type: none"> ・1日 定員800名 ・5日 定員55名 ・5日 定員35名、2日 定員30名 ・3日 定員60名 ・年6回 ・年1回 2日 定員95名(横須賀支部) <ul style="list-style-type: none"> ・年1回 12月2日(土)開催 会場 パシフィコ横浜アネックスホール ・運営委員会 年4回 ・研究指導講師紹介 5グループ <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年8回 研修担当 年7~8日 日本看護協会主催会議・研修参加 延2日間 2名 教育研修委員の研修会 年1回 定員30名 ・定例会 年5回 ・研修会 年3回 延定員180名 	
2 看護職の活動の充実 1) 職能における研修等 (1) 保健師職能に関する研修等 (2) 助産師職能に関する研修等 (3) 看護師職能Ⅰに関する研修等 看護師職能Ⅱに関する研修等 2) 支部における研修等 (1) 川崎支部 (2) 横浜北支部	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年12回 講演会 年1回 定員150名 研修会 年3回 延定員250名 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年12回 講演会 年1回 定員80名 研修会 年4回 延定員300名 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年12回 臨時4回 講演会 年1回 定員300名 研修会 年2回 延定員500名 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年11回 講演会 年1回 研修会 年2回 定員80名 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年8回 講演会 年1回 定員100名 研修会 年3回 延定員150名 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会 年12回 講演会 年1回 定員100名 研修会 年3回 延定員260名 新研修会(県委託) 年1回 定員40名 	11,914千円

事業内容	具体的計画等	予算額
(3)横浜西支部	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 年 12回 講演会 年 1回 定員 100名 研修会 年 3回 延定員 280名 新研修会(県委託) 年 1回 定員 40名 	
(4)横浜南支部	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 年 12回 講演会 年 1回 定員 50名 研修会 年 3回 延定員 150名 看護研究発表会 年 1回 定員 60名 	
(5)横須賀支部	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 年 11回 講演会 年 1回 定員 100名 研修会 年 2回 延定員 150名 新研修会(連携) 年 1回 定員 95名 看護研究発表会 年 1回 定員 100名 	
(6)相模原支部	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 年 12回 講演会 年 2回 延定員 150名 研修会 年 1回 定員 80名 看護研究発表会 年 1回 定員 100名 	
(7)小田原支部	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 年 11回 講演会 年 1回 定員 100名 研修会 年 3回 延定員 240名 看護研究発表会 年 1回 定員 150名 	
(8)湘南支部	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 年 10回 講演会 年 2回 延定員 200名 研修会 年 1回 定員 100名 看護研究発表会 年 1回 定員 100名 新研修会(県委託) 年 1回 定員 40名 	
(9)県央支部	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 年 12回 講演会 年 1回 定員 90名 研修会 年 1回 定員 90名 看護研究発表会 年 1回 定員 90名 	
3)看護職員の就業環境改善の促進		
(1)業務委員会	<ul style="list-style-type: none"> 2025年の超高齢社会に向けて、高齢者の特性を理解し、日々の看護業務に活かせるよう情報交換・交流の機会を提供し、これからの高齢者看護のあり方を考える。 	
(2)社会経済福祉委員会	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全に働き続けられる労働環境について学びの機会や情報を提供する ハラスメントについて学び、安心して働き続けられる職場環境作りに向けた取り組みをしていく。 	
3)地域看護の推進と拡充		17,158千円
1)地域看護の質向上と推進		
(1)訪問看護の推進	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護ステーション一覧の作成 	
(2)「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護等に関する相談・助言 	
2)地域看護の質向上に関する研修		
(1)地域看護における看護職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護見学体験研修会 訪問看護師養成講習会 精神科訪問看護基本療養費算定要件研修会 地域連携のための相互研修会(支部との連携研修) 介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル) 	<ul style="list-style-type: none"> 年 1回 計 2000部 配布先 訪問看護ステーション、地域包括支援センター、病院、行政等、ホームページへの掲載 週 1回 年 7回 2日間 定員 各20~30名 年 1回 30日間 定員 80名 年 1回 3日間 定員 50名 年 3回 3日間 定員 各40名 年 1回 3日間 定員 60名

事業内容	具体的計画等	予算額
<ul style="list-style-type: none"> 委員会 (2)地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立 介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル) 小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会 重度重複障がい児者への看護研修会 3)地域看護におけるトップマネージャーの育成 訪問看護ステーション管理者研修会 介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル) 	<ul style="list-style-type: none"> 年 1回 3日間 定員 60名 年 1回 11日間 定員 60名 年 3回 1日間 定員 各100~200名 年 1回 1日間 定員 50名 年 1回 3日間 定員 50名 	

	I-1、I-3、I-4 共通経費	140,143千円
--	------------------	-----------

I-5 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(事業費 91,960千円)

事業内容	具体的計画等	予算額
1)看護職員確保定着対策の推進		35,152千円
1)看護師等の無料職業紹介事業(本所、他1支所)	<ul style="list-style-type: none"> 求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供 第5次NCCSの運用 相談員の質の向上 相談員学習会 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 求人・求職就業等の目標相談件数 年10,000件 求人施設の個別支援 目標就職数 年500件 相談員学習会:3回/年 ナースセンター連絡会議後と他1日
2)届出制度の促進及び支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 届出制度の普及 届出者の情報管理 届出者の相談及び就業支援 	<ul style="list-style-type: none"> 通年 届出数:1,000/年 相談通年 就職・研修等の情報提供:1/月以上 情報交換会等の交流会の開催 1/年
3)ハローワーク・ナースセンター連携事業	<ul style="list-style-type: none"> 労働局・横浜公共職業安定所との連携 求人票・求職者の情報交換と支援 職種別賃金等の情報交換 巡回相談の実施 運営及び情報共有の会議 相談会等への相談員の派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 1回/週 1回/月 ハローワーク巡回相談 月/4回 巡回時及び必要時に開催 開催時
4)広報活動及び情報提供事業	<ul style="list-style-type: none"> 「ナースセンターご案内」リーフレット等の作成・配布 看護学生・教員への周知 年報の発行 医療・看護・介護に関するビデオ・DVDの貸出(館内・館外) ナースセンターホームページの活用 	<ul style="list-style-type: none"> 未就業看護職・施設への配布:1,000部 看護等養成学校訪問:10校以上 200部 配布先 行政機関等80箇所 7月 1回/年 利用件数 年100件 通年
5)関係機関との連携・会議	<ul style="list-style-type: none"> 中央・都道府県ナースセンターとの連携 社会福祉協議会 福祉人材センターとの連携 福祉施設等就職相談会等への協力・後援 会議 看護職員確保対策連絡協議会 ナースセンター事業運営委員会 ナースセンター連絡会議 都道府県ナースセンター事業担当者会議 都道府県ナースセンター相談員研修 	<ul style="list-style-type: none"> 通年/随時 福祉施設等就職相談会への派遣 登録求職者への研修案内配布協力 1回/年 10月 1回/年 10月 2回/年 4月・11月 1回/年 9月頃 1回/年 9月頃 1回/年
6)看護職員確保定着に関する調査事業		
7)看護職員の定着を図るための相談事業	<ul style="list-style-type: none"> 就業者の就業相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 通年
8)未就業看護師等への「復職支援研修」事業	<ul style="list-style-type: none"> 未就業看護師等研修会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 2回/年 受講者:100名程度

事業内容	具体的計画等	予算額
9) 潜在看護職員再就業支援事業 ・潜在看護職員の掘り起しのための普及啓発 ・再就業支援事業 ・施設対象の説明会	・ポスター掲示、リーフレット配布、 再就業セミナーの開催 4回 施設向け事業説明会 2回	
2 看護に関する普及啓発事業の充実 1) 進路相談事業 ・進路相談の実施 2) 看護フェスティバル開催への協働 「一日看護体験」実施施設との調整 3) 看護の仕事の普及啓発 若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発	・通年 相談件数 100 件/年 ・案内期間 5月1日～8月31日 ・看護フェスティバルでの相談：30件 ・リーフレットの配布 ・高校訪問5校以上	3,543千円
	共通経費	53,265千円

II-1 会員支援事業（事業費 116,445千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 会員に対する支援事業等 1 1) 委員会及び支部における情報提供等 (1) 保健師職能委員会 (2) 助産師職能委員会 (3) 看護師職能委員会 I 看護師職能委員会 II (4) 川崎支部 (5) 横浜北支部 (6) 横浜西支部 (7) 横浜南支部 (8) 横須賀支部 (9) 相模原支部 (10) 小田原支部 (11) 湘南支部 (12) 県央支部 2) 会員支援に関する事業 (1) 「看護職賠償責任保険制度」加入の推進 (2) 会員の進学支援 (3) 表彰 (4) 神奈川県看護協会指定店事業 (5) 会員の慶弔等への対応 (6) 会員相互の親睦を深める機会の充実 ・新春のつどい ・会員交流会 (7) お年玉プレゼント(広報出版委員会) (8) 会員サポート事業	・職能集会 年1回 「職能だより」の発行 年1回 1,000部 配布先 県市町村・企業・病院・地域包括 支援センター等 ・職能集会 年1回 「職能だより」の発行 年1回 1,500部 配布先 病院等施設 ・職能集会 年1回 ・職能集会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回(横浜西支部との共同開催) ・支部大会 年1回(横浜北支部との共同開催) ・支部大会・講演会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回 ・支部大会 年1回 ・新規加入者目標数 9,000名 ・大学等への進学の推薦 ・各表彰への推薦 ・約300店舗 ・弔慰金支給 傷病見舞金支給 ・平成30年1月25日(木) 横浜市内 定員400名 ・平成29年度下半期 定員85名 対象60歳以上の会員(平成30年3月末現在) ・当選者46名	11,903千円
2 会員に対する支援事業等 2 1) 看護管理者に対する研修支援事業 2) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援 (1) 認定看護管理者教育課程事業 ・認定看護管理者教育運営会議 ・ファーストレベル	・メンタルヘルス研修 1回 定員100名 ・看護補助者活用推進研修 1回 定員200名 ・定例会 年3回 ・研修期間 平成29年4月27日～9月8日	21,547千円

事業内容	具体的計画等	予算額
・セカンドレベル ・セカンドレベルフォローアップ研修 (2) 認定看護師教育課程事業 ・緩和ケア認定看護師教育課程 ・公開講義 ・緩和ケア認定看護師教育課程運営会議 ・緩和ケア認定看護師フォローアップ研修 (3) 看護管理者研修事業 2 ・看護管理 I、II 研修 ・医療安全管理者養成研修 ・重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者 研修(衛星通信配信)	定員70名程度 ・研修期間 平成29年10月5日～ 平成30年3月2日 定員35名程度 ・定員60名 年1回 ・研修期間 平成29年4月5日 ～平成30年3月14日 定員30名 ・定員50名×6回 ・定例会 年2回 ・定員100名×2回 ・研修5回 延8日 延定員475名 ・定員85名 7日間 ・定員200名 年2回	
	共通経費	82,995千円

II-2 法人管理事業（管理費 67,651千円）

事業内容	具体的計画等	予算額
1 職能団体としての組織・運営強化 1) 諸会議の開催 (1) 通常総会(決算) (2) 理事会 (3) 事業説明会 (4) 財政会議 (5) 新聞への広告掲載 2) (公社)日本看護協会との連携 (1) 総会参加 (2) 全国職能別集会参加 3) 新公益法人に関する業務等 4) 事務局機能の整備・充実 (1) 事務局情報・通信システムの運用・管理 (2) 役職員の資質向上のための研修実施及び学会参加 5) 委員会 (1) 推薦委員会 平成30年度役員推薦・選出 (2) 会員委員会 会員増への取り組み (3) 倫理審査会 2 政策への提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進 1) 国、神奈川県、関係団体への要望 医療制度、看護教育制度、診療報酬、看護職員の 働く環境、看護提供体制の改善・充実等 2) 神奈川県との連携 3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進	・平成29年6月16日(金) ・定例5回、臨時1回 ・年1回 ・年1回 ・年2回 ・平成29年6月7日(水) 開催地：千葉県 幕張メッセ ・平成29年6月8日(木) ・ホームページ、KANAGAWA看護だより等の活用 ・研修 事務局、訪問看護ステーション 年各1回 学会参加 年6回 ・定例会 年4回 ・定例会 年8回 ・施設見学 年1回 定員50名 ・入会案内リーフレットの作成 12,000部 配布先 病院等施設、看護学校等 ・事業案内パンフレット印刷 3,000部 ・看護協会活動PR・入会案内ダイレクトメール発送 ・協会紹介動画修正 ・入会実態調査 ・年1回 ・年4回	21,882千円
	共通経費	45,769千円

資金収支予算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	1,268	1,284	△ 16	
特定資産利息収入	1,268	1,284	△ 16	県債利息
入会費収入	70,000	75,000	△ 5,000	
入会金収入	70,000	75,000	△ 5,000	
年会費収入	210,000	210,000	0	
会費収入	210,000	210,000	0	
事業収入	442,706	433,359	9,347	
受講料等収入	74,142	74,621	△ 479	研修受講料
受託事業資料代収入	5,534	5,887	△ 353	委託研修資料代
参加費収入	5,650	5,630	20	学会・つどい・交流会参加費
訪問看護事業収入	345,898	336,585	9,313	訪問療養費等収入
居宅介護支援事業収入	11,482	10,636	846	
補助金等収入	120,088	112,691	7,397	
神奈川県補助金等収入	99,480	92,137	7,343	ナースセンター事業委託金 他
横浜市補助金等収入	2,990	2,990	0	訪問看護・小児・災害委託金
川崎市補助金等収入	556	556	0	重症心身障害児者委託金
相模原市補助金等収入	1,100	1,100	0	ナースセンター支所運営費
日本看護協会補助金等収入	14,990	14,990	0	教育研修助成金 他
団体助成金等収入	972	918	54	学会出展料
寄付金収入	5,020	5,020	0	
寄付金収入	1,000	1,000	0	東洋羽毛寄附金
協賛金収入	4,020	4,020	0	看護フェスティバル協賛金
雑収入	1,485	1,285	200	
受取利息収入	78	108	△ 30	預金利息
その他の雑収入	1,407	1,177	230	実習謝金
事業活動収入計	850,567	838,639	11,928	
2. 事業活動支出				
事業費支出	779,448	763,606	15,842	
役員報酬支出	21,627	17,047	4,580	
給料手当支出	435,698	419,901	15,797	
臨時雇賃金支出	18,764	20,145	△ 1,381	
役員退職慰労金支出	1,486	178	1,308	
退職給付支出	160	760	△ 600	
法定福利費支出	63,745	62,114	1,631	社会保険料
福利厚生費支出	7,509	7,566	△ 57	つどい・会員交流会費用 他
会議費支出	960	967	△ 7	委員会等定例会費用 他
旅費交通費支出	10,820	10,396	424	委員会・講師・役員出張交通費 他
広告宣伝費支出	2,710	2,751	△ 41	タウンページ広告掲載 他
通信運搬費支出	14,977	15,065	△ 88	看護だより・研修会案内送料 他
消耗什器備品費支出	878	1,704	△ 826	
消耗品費支出	16,222	16,187	35	研修物品費用 他
修繕費支出	1,460	2,282	△ 822	車両修理費 他
印刷製本費支出	27,245	27,439	△ 194	研修資料印刷代 他
燃料費支出	1,836	2,460	△ 624	訪問看護ステーションガソリン代
光熱水料費支出	2,929	3,044	△ 115	訪問看護ST光熱水費 他
賃借料支出	46,527	46,091	436	キャリア支援研修センター・訪問看護ST家賃 他
リース料支出	20,119	18,954	1,165	事務機器等リース料 他
保険料支出	3,232	2,818	414	実地研修参加者傷害保険料
諸謝金支出	39,206	39,367	△ 161	講師謝金
租税公課支出	8,100	7,360	740	委託事業消費税 他
手数料支出	1,591	1,810	△ 219	各種振込手数料 他
負担金支出	17,090	21,678	△ 4,588	研修参加費・訪問看護協議会会費 他
寄付金支出	900	900	0	災害見舞金等
委託費支出	13,100	13,916	△ 816	システム機器・映像技術料 他
雑支出	557	706	△ 149	クリーニング代 他

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
管理費支出	66,257	80,264	△ 14,007	
役員報酬支出	9,807	15,304	△ 5,497	
給料手当支出	19,302	25,934	△ 6,632	
役員退職慰労金支出	372	0	372	
退職給付支出	0	150	△ 150	
法定福利費支出	4,366	6,003	△ 1,637	社会保険料
福利厚生費支出	2,897	2,744	153	役員健康診断料 他
会議費支出	207	224	△ 17	理事会・委員会定例会費用 他
旅費交通費支出	1,459	1,559	△ 100	委員会・役員出張旅費交通費
広告宣伝費支出	109	108	1	新聞広告料
通信運搬費支出	3,860	4,763	△ 903	電話料・文書送付代 他
消耗什器備品費支出	300	300	0	
消耗品費支出	3,333	3,578	△ 245	事務用品 他
修繕費支出	91	91	0	備品修理代
印刷製本費支出	2,791	2,945	△ 154	総会資料印刷代 他
賃借料支出	109	64	45	会員委員会見学会時使用料 他
リース料支出	1,661	1,532	129	事務機器リース料
保険料支出	256	268	△ 12	役員・委員会傷害保険
諸謝金支出	1,479	1,574	△ 95	税理士報酬 他
渉外費支出	100	100	0	日看協事務指導等食事代
租税公課支出	5,412	3,383	2,029	固定資産税・消費税 他
手数料支出	1,091	1,032	59	各種振込手数料 他
負担金支出	6,100	7,218	△ 1,118	関係団体会費・会館維持費 他
助成金支出	155	155	0	看護研究活動助成金
委託費支出	787	1,022	△ 235	システム機器・ソフト保守料 他
雑支出	213	213	0	看護学校卒業式花束代 他
事業活動支出計	845,705	843,870	1,835	
事業活動収支差額	4,862	△ 5,231	10,093	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入	2,018	960	1,058	
役員退職慰労引当資産取崩収入	1,858	0	1,858	
退職給付引当資産取崩収入	160	960	△ 800	
投資活動収入計	2,018	960	1,058	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出	41,561	43,418	△ 1,857	
役員退職慰労引当資産取得支出	2,044	1,783	261	
退職給付引当資産取得支出	7,267	9,385	△ 2,118	
資産取得積立資産支出	20,000	20,000	0	
建物建替積立資産取得支出	12,250	12,250	0	
投資活動支出計	41,561	43,418	△ 1,857	
投資活動収支差額	△ 39,543	△ 42,458	2,915	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	△ 34,681	△ 47,689	13,008	
前期繰越収支差額	437,711	485,400	△ 47,689	
次期繰越収支差額	403,030	437,711	△ 34,681	

収支予算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,268	1,284	△ 16
特定資産受取利息	1,268	1,284	△ 16
受取入会金	70,000	75,000	△ 5,000
受取入会金	70,000	75,000	△ 5,000
受取年会費	210,000	210,000	0
受取会費	210,000	210,000	0
事業収益	442,706	433,359	9,347
受講料等収益	74,142	74,621	△ 479
受託事業資料代収益	5,534	5,887	△ 353
参加費収益	5,650	5,630	20
訪問看護事業収益	345,898	336,585	9,313
居宅介護支援事業収益	11,482	10,636	846
受取補助金等	120,088	112,691	7,397
受取神奈川県補助金等収益	99,480	92,137	7,343
受取横浜市補助金等収益	2,990	2,990	0
受取川崎市補助金等収益	556	556	0
受取相模原市補助金等収益	1,100	1,100	0
受取日本看護協会補助金等収益	14,990	14,990	0
受取団体助成金等収益	972	918	54
受取寄付金	5,020	5,020	0
受取寄付金	1,000	1,000	0
協賛金収益	4,020	4,020	0
雑収益	1,485	1,285	200
受取利息	78	108	△ 30
その他の雑収益	1,407	1,177	230
経常収益計	850,567	838,639	11,928
(2) 経常費用			
事業費	791,458	782,884	8,574
役員報酬	20,742	16,350	4,392
給料手当	420,531	409,561	10,970
臨時雇賃金	16,485	20,145	△ 3,660
役員賞与引当金繰入額	885	697	188
賞与引当金繰入額	10,918	10,340	578
役員退職慰労引当金繰入額	2,044	1,017	1,027
退職給付費用	7,267	8,421	△ 1,154
法定福利費	63,440	62,114	1,326
福利厚生費	7,509	7,566	△ 57
会議費	960	967	△ 7
旅費交通費	10,820	10,396	424
広告宣伝費	2,710	2,751	△ 41
通信運搬費	14,977	15,065	△ 88
減価償却費	11,178	10,778	400
消耗什器備品費	878	1,704	△ 826
消耗品費	16,222	16,187	35
修繕費	1,460	2,282	△ 822
印刷製本費	27,245	27,439	△ 194
燃料費	1,836	2,460	△ 624
光熱水料費	2,929	3,044	△ 115
賃借料	46,527	46,091	436
支払リース料	20,119	18,954	1,165
保険料	3,232	2,818	414
諸謝金	39,206	39,367	△ 161
租税公課	8,100	7,360	740

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
支払手数料	1,591	1,810	△ 219
支払負担金	17,090	21,678	△ 4,588
支払寄付金	900	900	0
委託費	13,100	13,916	△ 816
雑費	557	706	△ 149
管理費	67,651	83,609	△ 15,958
役員報酬	9,473	14,782	△ 5,309
給料手当	18,647	25,082	△ 6,435
役員賞与引当金繰入額	334	522	△ 188
賞与引当金繰入額	655	852	△ 197
役員退職慰労引当金繰入額	0	766	△ 766
退職給付費用	0	963	△ 963
法定福利費	4,366	6,003	△ 1,637
福利厚生費	2,897	2,744	153
会議費	207	224	△ 17
旅費交通費	1,459	1,559	△ 100
広告宣伝費	109	108	1
通信運搬費	3,860	4,763	△ 903
減価償却費	1,766	1,766	0
消耗什器備品費	300	300	0
消耗品費	3,333	3,578	△ 245
修繕費	91	91	0
印刷製本費	2,791	2,945	△ 154
賃借料	109	64	45
支払リース料	1,661	1,532	129
保険料	256	268	△ 12
諸謝金	1,479	1,574	△ 95
渉外費	100	100	0
租税公課	5,412	3,383	2,029
支払手数料	1,091	1,032	59
支払負担金	6,100	7,218	△ 1,118
支払助成金	155	155	0
委託費	787	1,022	△ 235
雑費	213	213	0
経常費用計	859,109	866,493	△ 7,384
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,542	△ 27,854	19,312
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,542	△ 27,854	19,312
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,542	△ 27,854	19,312
一般正味財産期首残高	1,904,576	1,932,430	△ 27,854
一般正味財産期末残高	1,896,034	1,904,576	△ 8,542
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,896,034	1,904,576	△ 8,542



こんにちは**事務局**です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

平成29年度 継続・新規入会手続き受付中!

有効期間/平成29年4月1日~平成30年3月31日
入会費/20,000円(当協会へ初めて入会する方)
年会費/11,000円(日看協5,000円+当協会6,000円)
※70歳以上の方には年会費の一部免除があります。
※平成29年度より、会費納入方法が変わりました。これ
まで使用していた振込口座 ゆうちょ銀行と横浜銀行
大口支店は、閉鎖いたしました、ご注意ください。
問合せ/総務課企画・会員班 ☎045-263-2918

第19回神奈川看護学会演題募集中!

テーマ:「今こそ、看護の本質を語ろう~看護師だからできること~」
神奈川看護学会では、幅広い分野からの演題応募を受け付けております。研究初心者の方も安心して発表できる学びの場です。神奈川で看護する仲間たちと、研究を通して看護について語ってみませんか?詳しくはホームページをご覧ください。
日時/平成29年12月2日(土)
会場/パシフィコ横浜アネックスホール
締切/7月1日(土)必着
問合せ/神奈川看護学会事務局 ☎045-263-2926

入会案内パンフレット・協会紹介動画のご案内

会員委員会では、これから看護協会に加入される方・加入を検討されている方向けに入会パンフレット及び協会紹介動画をご用意しております。施設内のオリエンテーションなどで、県看護協会を説明する際の資料として是非ご活用ください。協会紹介動画は下記のとおりをご覧ください。
本会ホームページ > 看護協会とは > 活動内容
入会パンフレットが必要な方は下記問合せまでご連絡ください。
問合せ/総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

表紙の
写真



チャレンジできる環境 だから輝き続けられる

——独立行政法人 労働者健康安全機構
横浜労災病院(横浜市港北区)

当院は、横浜市港北区新横浜に平成3年に開院しました。専門性を活かした高度医療の提供と24時間365日対応できる救急医療に力を注ぎ、地域医療を支える中核病院として急性期医療を実践しています。

当院で働く看護職員は、患者さんがその人らしい生活を送れるように「勤労者看護の視点」をもって他職種と協働して看護サービスを提供しています。様々なチャレンジできる環境を活かして、看護部理念である「慈愛」「創造力」「対話」「感動」をKeywordとして看護を実践していきたいと思っています。一步一步着実にチャレンジできる環境の中で、いきいきと看護に向かい合っています。
看護部長 渡辺 潤子

通常総会のご案内

日時/6月16日(金) 9時45分~15時45分
場所/県総合医療会館7階講堂
報告・審議事項/平成28年度事業報告、平成29年度重点事業及び事業計画、平成29年度資金収支予算及び収支予算、平成28年度決算報告及び監査報告(案)、平成29年度役員の選出 他
講演/「夢を実現させるロボットの進化~医療・介護現場で活躍が期待されるロボット~」
講師/神奈川県立産業技術総合研究所 櫻井正己氏
その他/プロムナードコンサート 童謡歌手 稲村なおこ氏

保健師職能集会・講演会

日時/7月8日(土) 13時30分~16時30分
場所/神奈川県看護協会第1研修室
内容/1)職能集会 2)ミニ講座「看護職のネットワークの強化」 3)研修会「保健師のための行政学入門」
講師/2)日本看護協会専務理事 井伊久美子氏
3)東京医科大学准教授 吉岡京子氏

助産師職能集会・講演会

日時/7月28日(金)13時~16時30分
場所/神奈川県看護協会第1研修室
内容/1)職能集会 2)講演会「メンタルリスクのある妊産婦へのケア 助産師だからできること」
講師/済生会横浜市東部病院 相川祐里氏

看護師職能I集会・講演会

日時/7月12日(水)13時10分~16時
場所/県総合医療会館7階講堂
報告/平成28年度活動報告、実態調査報告、平成29年度活動計画
講演/「看護の力~看護師だからできること~」すべての人と「共生」の発想から、看護の力でやれることを、信念をもって実践してきた講師の経験を聞き、これからの看護師としてのあり方を考える。
講師/惣万佳代子氏

看護師職能II集会・講演会

日時/7月15日(土)13時30分~16時
場所/県ナースセンター研修室
内容/1)平成28年度活動報告 2)平成29年度活動計画 3)講演会「地域包括ケアシステムにおける看護職の役割」
講師/東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻 地域看護学分野 講師 成瀬 昂氏

お知らせ

県央支部理事 木村みさ子さんが3月15日付で退任されました。

編集後記

4月から新採用者を迎え、新しい気分で新年度をスタートしています。今月号の表紙も、生き生きとしたスタッフの笑顔や取り組みを見て、あらためて嬉しくなりました。今年度も「看護だより」では、皆様元気になれるような情報を提供していきたいです。(H.S)